

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	西浦地区	回数	第5回
日時	平成30年2月25日(日) 午後1時30分～午後4時30分まで		
会場	にしうら児童館 プレイルーム	参加者数	18名

1. ふさわしい再配置案

A案

今後人口が減少して学校の建物を大きく作る必要はなくなると思うので、50年先を見据えるならば集約してコンパクトにするA案でも良い。その方が財政的にも有利ではないか。

- ・ 50年先を見据えるなら、今後人口が減少し、大きな学校の建物も必要なくなるだろうから、集約してコンパクトにするA案でも良い。その方が財政的にも有利なのではないか。

小学校敷地に施設が集中するので、必要な機能が十分に確保されない心配がある。

- ・ 小学校敷地へ施設が集中して必要な機能が十分に確保されない心配がある。

全ての機能が集約されると災害時などに使えなくなったり、安全性が確保できなくなった際の代替機能が無くなってしまったりするので、機能を分散し、リスクも分散させた方が良い。

- ・ 全ての機能が一元化されると安全性などのリスク面で影響があるかもしれない。機能を分散させることで災害時への代替機能を持たせた方が良いのではないか。

A'案

A案、B案より課題が少なく、現状より低下する△の評価が1つもない点が良い。

- ・ 現状より低下する△の評価が1つもない点が良い。
- ・ A案、B案よりデメリットや課題が少ない点が評価できる。

A案の小学校敷地への施設集中が緩和され、敷地に余裕ができるので、十分な駐車場の確保や生徒数が増えた場合の対応が可能になるのが良い。

- ・ A'案はA案の小学校敷地へ施設が集中して必要な機能が十分に確保されない点が緩和改善されていてよい。
- ・ A案より小学校敷地に余裕があるので、生徒数が増えた場合でも対応ができる。また、駐車場も十分に確保できると思う。

小学校、中学校、公民館機能が集約され、神社にも近いので、夏祭り、運動会、年越しふ

るまいなどの行事がやりやすくなり、学校と地域とのつながりが高まる。高齢者と子ども達とのふれあいの場ができるのも良い。

- ・ 小学校、中学校、公民館機能が集約されていると町内行事が行いやすい。また、神社にも近く行事面での連携も取りやすい。具体的には夏祭り（盆踊り）、運動会、年越しふるまいを行うにも都合が良い。
- ・ 小、中学校及び公民館を一体にすると、互いの見える化が進み学校と地域とのつながりが高まる。
- ・ 年配者と子ども達のふれあいの場ができるのが良い。

小学校と中学校、児童館と保育園という組合せは、互いに刺激ある交流ができる年齢の組合せだと思うので他の案より良いと思う。

- ・ 異年齢の交流について、小学校と中学校、未就園児と保育園という年齢の組合せは他の案よりもベターと思われる。
- ・ 未就園児と保育園児の交流は、互いに刺激があると思うので良い。

保育園はお迎えの車が集中する時間があるので、安全面を考えると学校と保育園を一緒にしないA'案の方がA案より良い。

- ・ 保育園はお迎えの車が集中する時間があり、安全面を考えると学校と保育園を一体的利用しない方がよい。A案よりはA'案の方が良い。

現状の児童館周辺の道路は狭くて危険なので、移転して保育園と一緒にすることで安全性が確保できるのに加え、保育園の先生達が未就園児などの地域情報を得ることができるので良い。

- ・ 児童館と保育園を一緒にすることは、保育園の先生たちが地域の情報（未就園児の情報等）を得ることができるので良いのではないかと。
- ・ 児童館周辺の道路はとても狭く、子どもが車と接触して事故にあいそうで危ない。現状の児童館として立地が良くないので、児童館を移転するA'案の方が良い。

コスト面でも優れている案だと思う。

- ・ A'案はコスト面でも優れているのが良い。

一次避難としては、まず今いるところから一番近い高台に逃げるとするのが大事なので、拠点が高台にあるB案が防災上優れているとは必ずしも言えない。防災倉庫は小学校にあるし、総合的に考えるとA'案の方が防災面で優れているのではないかと。

- ・ 一次避難、二次避難と考えた時に、一次としては、まずは各地域で今いるところから一番近い高台に逃げるとするのが大事だ。そのことを考えると必ずしも、高台に拠点があるB案が災害上優れているとは言い切れない。防災倉庫が小学校にあることを含

めて考えると、総合的にA'がベターだと思う。

高台に拠点がないので、災害の際に安全が守れるかやや心配だ。

- ・ 高台に拠点がないのは災害の際に、安全が守れるかやや心配だ。

B案

中学校敷地は静かで、グラウンドが広く部活動のスペースが確保できるので、教育環境として優れている。通学が大変だという意見もあるがさほど大きな負担とは思えないし、通学することで体力向上が期待できると考えれば良いのではないか。

- ・ 中学校敷地に歩いて通うくらいは負担ではないと思う。
- ・ 通学が大変だという意見もあるが通学することで体力UPが期待できる。
- ・ 中学生の教育環境として、静かで、グラウンドが広いのが良い。
- ・ 中学校敷地は広さがあるので、部活動のスペースの確保ができる。

中学校の敷地は高台にあるので、津波の際の避難所としてより安心できる。

- ・ 中学校敷地は高台なので津波の際に避難場所としてより安心できる。自分も卒業生なので、中学校を残したいノスタルジックな気持ちもあり、B案が良いのではという気持ちも少しだが残っている。
- ・ 津波などの災害時のことを考えると、高台に拠点があることは良い。

高台は防災拠点として、低い土地はコミュニティ拠点として適していると思うので、両方に拠点があるのは良い。

- ・ 高台と、低い立地の両方に拠点があることが良い。高台は防災面で、低い立地はコミュニティ拠点の面であると良い。

高台にあり夜は暗い中学校敷地は使いづらいし、小学生がそこまで登校するには負担が大きい。

- ・ 西浦中学校は高台で夜暗く利用しづらいので候補地としては適当ではない。
- ・ 高台にある中学校敷地に小学生（特に低学年）が登校するのは負担が大きく賛同できない。

小学生の通学のためにスクールバスを運行するとしたら、そのためのコストがかかってしまい財政の軽減にならないのではないか。

- ・ 小学生の通学のためにスクールバスを運行するとしたらそのコストが気になる。そのためのコストがかかると財政の軽減にならないのではないか。

C案

子どもの教育で中学時代が最も重要な時期だと思うので、中学生の教育環境を第一に考えると、中学校の生徒数が増える案が良い。この案にこだわっているわけではなく、学区の再編などで生徒数が増えるなら他の案でも構わない。

- ・ 中学生の教育環境を第一に考えて、中学校の生徒数が増える案を支持する。今ある比較案の中では、強いて言えばC案に近いが、形原中学へ吸収合併するというより、一緒になって新しい中学をつくるイメージが理想になる。
- ・ C案にこだわっているわけではなく、他の案でも西浦中学の学区再編などにより生徒数が増えるならばその案でも構わない。
- ・ 中学時代は子どもの教育の中で一番重要な時期と思う。現状の西浦中学校は1学年に30人程と生徒が少ない。もっとクラスメイトが多い環境で、教育を受け、人間関係を育むことが望ましい。

少人数教育の方が、いじめや不登校などの問題にきめ細かく対応ができるという面があるので、単純に生徒数が多い方が良いとは限らないと思う。

- ・ 生徒数が多い方が単純に良いとは限らない。少人数教育の方が、いじめや不登校などの問題にもきめ細かく対応ができると思う。支援学級のあり方も今後は変わってくると思うので、生徒数が多いことがプラスになるか今後は分からない。

2. 付帯事項

A'案

■建物・駐車場・グラウンド

保育園と児童館は階を分ける、公民館は防音壁にするなどの設計の工夫をすることで、利用層の異なる施設の棲み分けや、静かな学習環境とにぎやかな地域交流の両立を図ってほしい。

- ・ 教育環境の向上と地域との交流を両立させるための設計上の工夫をする。
- ・ 設計の工夫で静かな学習環境とにぎやかな地域との交流は両立できる。
- ・ 公民館は防音壁にするなど、建物の工夫で教育環境を担保する。
- ・ 保育園と児童館では利用層が違うので、機能面で住み分けできるようにする。例えば南部保育園、蒲郡児童館は保育園が1Fと児童館が2Fで機能住み分けが出来ている。今回も同様にしてはどうか。

小、中学校が一緒になっても、今よりグラウンドや教室が狭く、使い勝手が悪くならない様にしてほしい。

- ・ 小、中学校が一緒になることで、グラウンドの広さや教室とかは今よりも狭く、使いづらくなるのはよくない。

複合化する建物はデザインや環境面も含めて魅力的なものにしてほしい。公民館と児童クラブを隣同士にするなど、お年寄りが子供を見守る関係を生む様な配置の工夫ができると良い。

- ・ 建替え、複合化する建物は、デザインや環境面も含めて魅力的なものにしてほしい。
- ・ 児童クラブと公民館を隣同士の配置にするなど、お年寄りが子供を見守る関係を生みたい。

小、中学校の教室にエアコンを設置したり、敷地内に資源物の回収倉庫を設けるなど、再編を機に地域環境を向上させてほしい。

- ・ 小中学校の教室において、エアコンやクーラー等設備面での環境をアップしてほしい。
- ・ 敷地内に資源物回収ができる倉庫を整備してほしい。回収率が向上する。

保育園、児童館、公民館の駐車場、駐輪場の不足がないようにしてほしい。今の敷地だけでは足りないのであれば、神社の土地をもっと借地してほしい。

- ・ 保育園、児童館、公民館の駐車場、駐輪場の不足がないようにする。今の敷地だけでは足りないのであれば、神社の土地をもっと借地してほしい。

■運営面

小学校と中学校を集約化することで教育の質が低下することがないようにしてほしい。集約化によって問題が起きないか心配なので、現場を良く知る先生や専門家などに事前に確認をおきたい。

- ・ 小学校と中学校を集約化することで教育の質が低下することがないようにしてほしい。
- ・ 小、中学校を一緒にした場合に、なんらかのトラブルが起きないか心配である。事前に確認をおきたい。

教育環境の向上と地域交流の活性化が両立できる様に、学校と地域とで校庭利用の時間を明確に分けたり、公民館の催しは授業に影響しない時間帯にするなどの運営上の工夫をする。

- ・ 教育環境の向上と地域との交流を両立させるために運営上も工夫をする。
- ・ 校庭の利用などは、時間割をつくって学校利用と地域利用の棲み分けをする。
- ・ 子どもの学習環境を守るための工夫として、公民館での催しの時間帯などには注意する。

出入りが自由な公民館や児童館と部外者を入れない小学校や保育園を一緒にする際には、セキュリティに十分配慮してほしい。動線を分けるなどの工夫が必要だ。

- ・ 部外者が入れない保育園と出入りが自由な児童館が同じ敷地する場合は、セキュリティを確保してほしい。

- ・ 現状の西浦小学校の敷地は公道があるため出入自由でセキュリティに問題がある。再編に際しては、その問題を解決してほしい。また、出入自由な公民館とも動線を分ける必要がある。

児童クラブが小学校内にあると移動のリスクがなく安心できるので、児童館が保育園へ移転するまでに時間がかかるのであれば、児童クラブはできるだけ早く小学校に移転してほしい。

- ・ 児童クラブが小学校内にあるので、移動のリスクがなく安心できる。
- ・ 児童館が保育園へ移転するまでに時間がかかるのであれば、児童クラブはできるだけ早く小学校に移行した方がよい。
- ・ 児童クラブは今回の再配置計画に関わらず、なるべく早く学校へ機能移転してほしい。

中学校の教育環境を改善するため、学区再編などによって生徒数を増やしたり、インターネットを活用して他校の生徒と交流できるようにするなどの少人数を補う工夫をしてほしい。

- ・ 中学校の教育環境を改善するため、学区再編など生徒数を増やす工夫をしてほしい。一方で、少人数になるとしてもインターネット等を活用して他校の生徒と交流できるようにするなど少人数を補う工夫もしてほしい。

親の行事参加の負担軽減につながるので、小、中学校のPTAを一緒にできると良い。

- ・ 小、中学校のPTAを一緒にできると良い。小、中一緒に行事が行われれば、親の参加の負担が軽減できる。

高齢者のコミュニティ広場、学校以外の子どもの居場所、コミュニティカフェなど、地域住民の健康長寿を促進したり、生活に憩いを与える場を整備してほしい。

- ・ 高齢者が健康長寿でいるためのコミュニティ広場を設けたい。
- ・ 子ども食堂など、学校以外の子どもの居場所づくりをしたい。
- ・ 公民館にコミュニティカフェを作るなどして憩いの場を整備してほしい。

学校や児童館などの子どもの施設の周辺道路は、ゾーン 30 や路面の工夫などによって車の速度を制限し、子ども達の安全性を確保してほしい。

- ・ 周辺に狭あいな道路があるようなら通学に支障がでないように整備してほしい。
- ・ 道が狭くて危ないので、通学路の整備も重要だ。
- ・ 児童館など子どもの施設の周辺は十分に交通安全対策を行ってほしい。(ゾーン 30 など)
- ・ 「ゾーン 30」で子どもの施設の周辺は面的に時速 30km 制限の規制をかけたり、デコボコ道でスピードを抑制する工夫などを導入することで、歩行者の安全性を確保してほしい。

しい。

■跡地利用

中学校の跡地は、高台にあるという立地を生かして有効に活用できると良い。企業誘致、老人ホームや若者向け施設の誘致、災害時対応施設や交流広場の設置などが考えられる。

- ・ 中学校の跡地は借地ではあるが、高台にあり有効活用できるのではないか。企業誘致も含めて跡地の有効活用を考えてほしい。
- ・ 中学校の跡地は高台にあり、災害対応や交流のための広場に有効活用できるのではないか。そのため、私有地を市有地にするべき。
- ・ 中学校跡地には眺海園のような老人ホーム等を誘致して、老人の人口流出を止めたい。
- ・ 中学校跡地には老人向けの施設よりは、若い世代がやってくるような施設を誘致したほうが良い。

児童館はまだ新しいので、建物を有効に活用できると良い。広さ、耐用年数や耐震性を確認した上で公民館の様な地域の活動スペースとして使えないか。

- ・ 児童館はまだ新しい。児童館を現在の公民館の代替施設として再利用する可能性はあるのか。
- ・ 児童館に公民館に必要な機能が整備できるか、建物の耐用年数や耐震性は十分かなどを確認した上で、公民館としての代替が可能かどうか判断してはどうか。

公民館の跡地は再編後の公共施設利用者の駐車場に活用してほしい。

- ・ 公民館の跡地は、再編後の公共施設利用者の駐車場に活用してほしい。

A'案・B案共通

児童館の建物はまだ新しいので有効に使ってほしい。寿命が来るまではしばらく使うのも、このまま残すのでも構わない。

- ・ 児童館の建物はまだ新しく、使わないのはもったいないので残す。段階的な計画と捉えれば、A'案の様に建物の寿命が来るまではしばらく使うのでも、B案のこのまま残すのでもどちらも良い。

建物の防音設備を整えてほしい。

- ・ 防音設備を整える。

十分な駐車場スペースを確保してほしい。

- ・ 十分な駐車場を確保する。

敷地内の私有地を購入したり無償提供してもらうことで、歯抜け状態を解消したり広さを

確保し、より有効に敷地や跡地の利用ができるようにできると良い。

- ・ 私有地を町のために無償提供してもらうか、市有地化することができると良い。

一次避難で身近な高台、二次避難で指定避難場所へという安全確保の流れを地区ごとに考えることや、組織立った活動ができる様な体制を作るなど、地域全体の防災計画の中で公共施設を捉えることが大事だと思う。

- ・ 地域全体の防災計画の中で公共施設を捉えることが大事だ。一次避難でまず身近な高台、二次避難で指定避難場所へという安全確保の流れを地区ごとに考えることや、組織立った活動ができる様な体制が大事だと思う。

3. その他（今後の進め方など）

再配置計画を進めるのなら、なるべく早く整備してほしい。

- ・ 事業全体としてなるべく早く実施してほしい。
- ・ 再配置計画を進めるのなら、西浦地区を他の地区よりも早く整備してほしい。

市が選択した案の周知と意見収集を徹底してほしい。地区内の多様な立場の住民だけでなく、他の地域の学校関係者や専門家などからの意見も聞いた上で、最終決定してほしい。

- ・ 市が案を選択した後に、その案を何らかの方法で町民に伝えて意見を聞き、その上で最終決定するのが良い。
- ・ 選択された案の周知と意見収集を徹底する必要がある。例え月末には町内会長会議や小中学校の総会が開かれるので、そういう場で周知ができる。
- ・ 案の周知をする際には、単に多くの人に知らせれば良いわけではない。誰から意見収集するかという質も大事なので、多様な立場の人からしっかり話を聞くべきだ。
- ・ 他の地域の学校関係者や専門家など、外の人からの意見ももらえるといい。

再配置案を考える際に、子どもの数が減ることを前提にしないというのも大切だ。

- ・ 子どもが減ることを前提にしないというのも大切だ。

再編後に小中一貫校にする可能性があるのか知りたい。

- ・ 小中一貫校の可能性はあるのか知りたい。